



デジタルハーツホールディングス(3676)

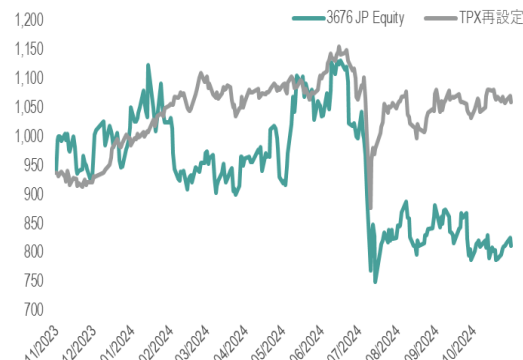
強い成長モメンタムが続く

2024 年 11 月 26 日

2025 年 3 月期 2Q 決算アップデート

- **強い回復基調** – 2025 年 3 月期第 2 四半期は、AGEST グループ事業が黒字化したことや、厳格なコスト管理を受けて、営業利益率の回復が確認できた (2024 年度第 2 四半期は 3.5% に対し 2025 年度第 2 四半期は 5.3%)。前年比では業績は改善しているものの、第 1 四半期に起きた特定案件の顧客側の計画見直しによるマイナス影響等を考慮し、同社は 2025 年 3 月期の営業利益予想を 31 億円から 25 億円に下方修正した。利益目標は引き下げられたが、同社は引き続き、前年比 24.5% の営業利益成長を見込む。

株価: 813 円 時価総額: 194 億円



出所: ブルームバーク

収益性を維持しながら成長に回帰

- **当社業績予想を下方修正** – 同社が発表した業績予想の下方修正を反映し、当社の売上高成長率予想を+9.1%、営業利益率予想を 6.0% (修正前はそれぞれ+13.7%、7.1%) に下方修正する。
- **2025 年に QA ソリューション事業をスピノフ上場** – 同社は、QA ソリューション事業の中核子会社である AGEST グループを 2025 年中にスピノフ上場する予定。事業ラインの再編や経営陣の人事など、社内の再編はほぼ完了しており、次の議題は外部業務 (投資銀行の審査や東京証券取引所の承認) である。
- **2024 年 4 月の Turing への投資は AI の影響力を強調** – 同社は、AI 支援の自動運転車両を開発する Turing Inc. の資金調達ラウンドに参加した 8 社のうちの 1 社。業界全体で AI 関連の収益が加速する中、この投資は同社のデータ収集とタグ付け能力に注目を集めるものであり、間接的なメリットがあると当社ではみている。
- **ESG** – 当社の「アストリス・サステナビリティ」モデルのスコアカードにおけるデジタルハーツ HD のスコアは「Amber」。
- **バリュエーション** – 当社予想に基づく、同社株式の 2025 年 3 月期 PER は 10.3 倍、EV/EBITDA は 5.9 倍。売上高と営業利益が 2 桁成長している企業としては妥当な水準であると考える。

リターン

	年初来	1 か月	3 か月	12 か月
絶対 (%)	-19.6	+3.2	-1.6	-14.6
相対 (%)	-29.2	+0.4	-2.6	-24.1

セクター

情報技術サービス
IT サービス(GICS)

株式データ

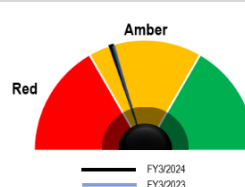
株価 (円)	813
時価総額 (十億円)	19.4
時価総額 (百万ドル)	126.3
52 週レンジ (円)	736-1,170
発行済株式数 (百万株)	23.9
日次平均出来高 (百万ドル)	0.4
浮動株 (%)	47.3
外国人株式保有比率 (%)	18.0
コード	3676
取引所	東証プライム
純有利子負債 / 自己資本 (倍)	0.0
FFO レバレッジ (倍)	0.1
買い ホールド 売り	1 0 0

出所: ブルームバーク

事業概要

デジタルハーツ・ホールディングスは、エンターテインメント企業向けにゲームのデバッグサービスを、法人顧客向けにソフトウェアのテスト(QA サービス)を提供

アストリス・サステナビリティ ESG レーティング



参考レーティング

MSCI	N/A
Sustainalytics	N/A
Refinitiv	N/A
S&P Global	1.0
Bloomberg	1.28
CDP	N/A

次のイベント

2025 年 2 月: 2025 年 3 月期第 3 四半期決算発表

Tel: +81 3 6868 8797

Email: Corporateresearch@astrisadvisory.com

本レポートは同社から委託され、支払いを受けて作成されている。

年度末	3/23	3/24	3/25E
売上高 (十億円)	36.52	38.79	42.33
営業利益 (十億円)	3.00	2.04	2.53
純利益 (十億円)	0.80	0.18	1.76
EPS (円)	36.50	7.94	79.16
1 株当たり配当 (円)	21.00	21.00	21.00
売上高伸び率 (%)	+25.2	+6.2	+9.1
営業利益成長率 (%)	+11.3	-32.0	+24.0
純利益成長率 (%)	-55.1	-77.9	+896.3
EPS 成長率 (%)	-55.7	-78.2	+896.3
PER (倍)	22.3	102.3	10.3
EV/EBITDA (倍)	4.8	6.5	5.9
EV/売上高 (倍)	0.6	0.5	0.5
PBR (倍)	2.2	2.3	2.4
ROE (%)	10.1	2.1	21.3
ROCE (%)	31.1	22.5	28.7
FCF 利回り (%)	9.4	4.9	9.9
配当利回り (%)	2.6	2.6	2.6

出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザーが作成

直近の業績

2025 年 3 月期第 2 四半期決算

AGEST グループ事業が黒字に戻り、マージンは回復

主要財務データ

(十億円)	24 年 3 月期 第 2 四半期	25 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期 比 (%)	25 年 3 月 期 通期会社 予想 (旧)	25 年 3 月期 通期会社 予想 (新)	前年同期 比 (%) (新)
売上高	9.37	10.07	+7.4	44.10	42.02	+8.3
売上原価	6.98	7.54	+8.1	-	-	-
売上総利益	2.39	2.53	+5.6	-	-	-
販管費	2.07	2.00	-3.4	-	-	-
営業利益(損失)	0.3	0.5	+62.7	3.10	2.54	+24.5
営業利益率(%)	3.5	5.3		7.0	6.0	
税引前当期純利 益(損失)	-0.67	0.49	-	-	-	-
親会社株主に帰 属する当期純利 益	-0.77	0.24	-	2.10	1.60	+804.3

出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

AGEST グループ事業は想定程は営業利益が伸びなかった

事業セグメント別データ

(十億円)	24 年 3 月期 第 2 四半期	25 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比 (%)
売上高			
DH グループ	5.70	6.14	+7.7
国内デバッグ	3.30	3.47	+5.3
グローバル及びその他	2.40	2.66	+11.1
AGEST グループ	3.84	4.01	+4.4
QA ソリューション	3.19	3.49	+9.5
IT サービス及びその他	0.66	0.52	-20.5
セグメント利益(損失)			
DH グループ	0.41	0.43	+5.3
AGEST グループ	-0.08	0.10	-
セグメント利益率(%)			
DH グループ	7.2	7.0	
AGEST グループ	-	2.5	

出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

決算ハイライト

DH グループ事業は 2025 年 3 月期第 2 四半期に好調な業績を上げ、グローバルおよびその他のサブセグメント (+11.1%) の拡大が主な要因で、安定した売上成長 (前年比 +7.7%) を達成した。

AGEST グループ事業はまずまずの成長 (+4.4%) をみせた。しかしながら、第 1 四半期に起きた特定案件の顧客側の計画見直しによるマイナス影響を考慮し、同社は連結営業利益 (31 億円から 25 億円) と連結営業利益率 (7.0% から 6.0%) の会社予想を下方修正する結果となった。とはいえ、AGEST グループ事業は第 2 四半期で黒字化しており、前年比で営業利益が拡大していく方向性には変わりはない。

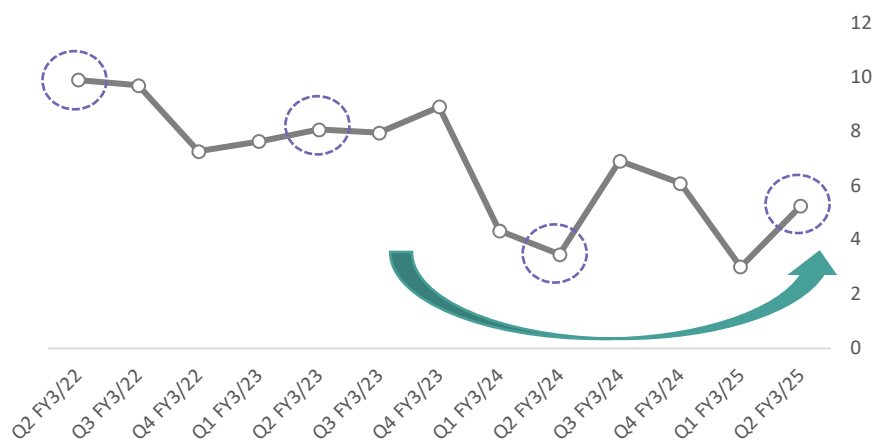
第 1 四半期で起きた特定案件のキャンセルの原因は、システム開発業務における品質懸念だったようだが、同社は当案件のバックエンドテスト業務に携わっており、問題になったシステム開発業務は直接担当していない。営業利益への影響が大きかったのは、人件費など既にコストが発生している大型案件だったためだと当社ではみている。中止となった案件が 2025 年 3 月期に再開されるかどうかは不透明である。

QA ソリューション事業の 2025 年 3 月期の顧客数・技術者数目標については、現在進行中の海外事業の見直しや海外市場での顧客獲得が想定より遅れていることなどから、達成のハードルが高いと当社ではみている。ただし、海外事業の見直しにより単価の低かった事業が縮小するため、QA ソリューション事業の売上構成が改善すると想定し、平均単価は上昇すると予想する。

連結ベースでは営業利益が前年比 62.7% 増となり、営業利益率は 5.3% (2024 年 3 月期第 2 四半期は 3.5%) に改善した。通期の営業利益予想は下方修正されたが、2025 年 3 月期の営業利益は前年比 24.5% の成長を見込んでいる。なお、今回の連結営業利益の下方修正は主に AGEST グループ事業における下方修正を反映したもので、DH グループ事業の期初計画は据え置かれた。

営業利益率に底打ちの兆し

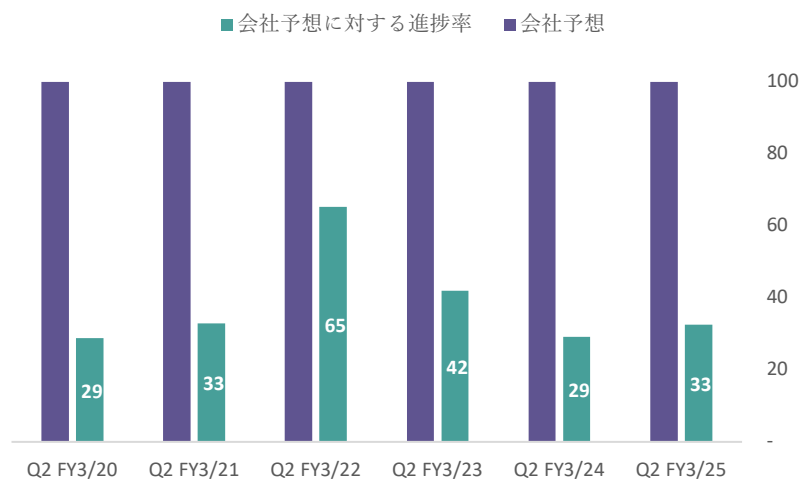
営業利益率の四半期別推移 (%)



出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

2025年3月期第2四半期の進捗率は過去数年のトレンドを下回るものの、 前年比較では改善

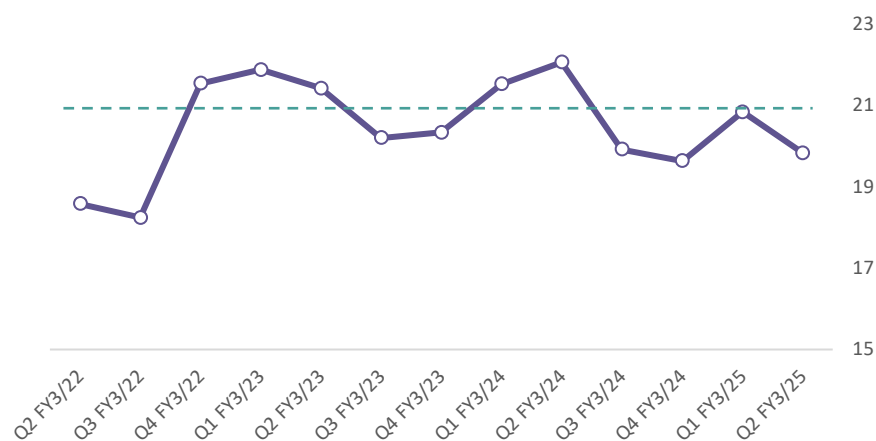
営業利益の会社予想に対する第2四半期の進捗率(%)



出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

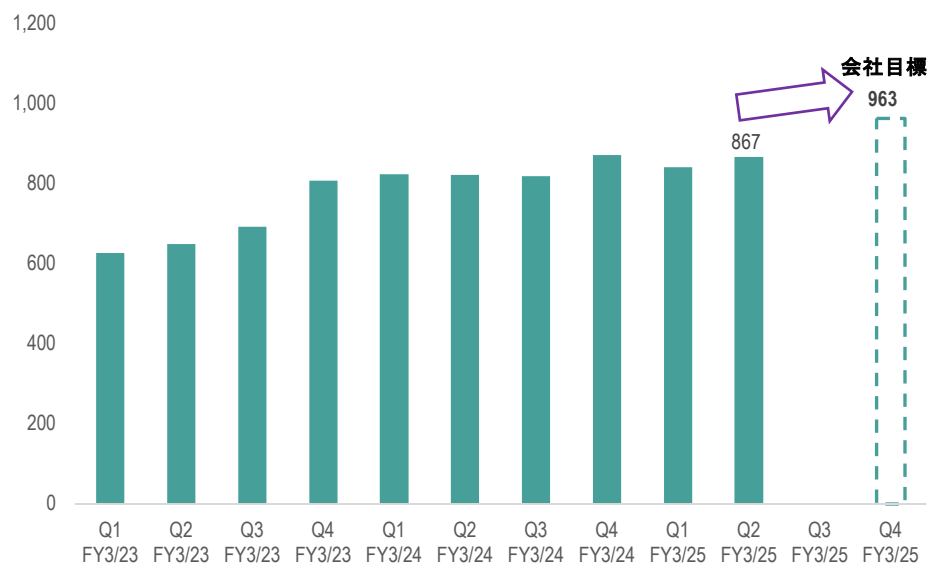
売上高販管費率は近年の高水準を下回ってきた

売上高販管費率の推移(%)



出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

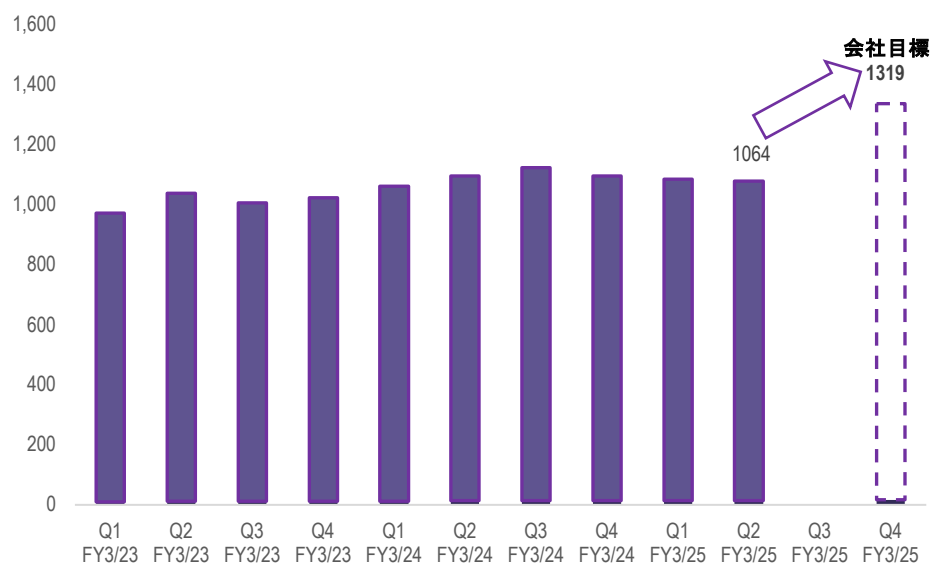
顧客数は近年着実に増加
QAソリューションにおける顧客数



出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザーが作成

エンジニアの増加数は、直近四半期では緩やかに推移

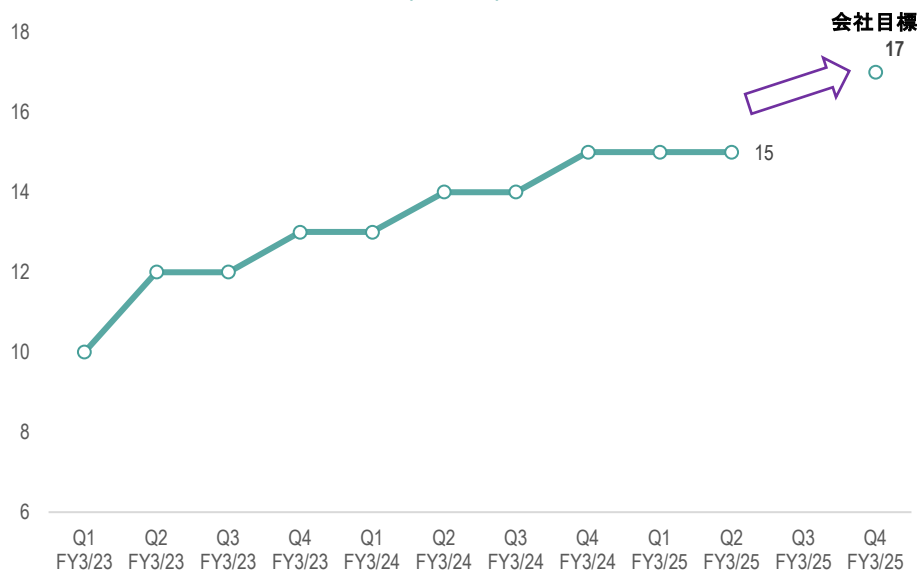
QAソリューションにおけるエンジニア数



出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザーが作成

単価は順調に上昇してきたものの、直近四半期では上昇ペースが鈍化

QAソリューションにおける平均単価 (百万円)



出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザーが作成

当社の業績予想と主な前提条件

当社の主な業績予想は次のとおり。

アストリス・アドバイザリーの業績予想
(2024年3月期実績は新セグメント区分に合わせて再表示)

年度末	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 会社予想 (旧)	2025年 3月期 会社予想 (新)	2025年 3月期 予想 (旧)	2025年 3月期 予想 (新)
売上高(十億円)	38.8	44.1	42.0	44.1	42.3
前年比成長率(%)	6.2	13.7	8.3	13.7	9.1
DHグループ	23.5	25.7	25.7	25.7	25.7
前年比成長率(%)		9.5	9.5	9.5	9.5
AGESTグループ	16.0	18.4	16.5	18.4	16.6
前年比成長率(%)		15.0	3.2	15.0	4.0
営業利益(十億円)	2.0	3.1	2.5	3.1	2.5
前年比成長率(%)		52.0	24.6	52.8	24.1
DHグループ	1.7	2.0	2.0	2.1	2.1
前年比成長率(%)		17.6	17.2	18.7	18.7
AGESTグループ	0.3	1.1	0.5	1.1	0.5
前年比成長率(%)		247.0	62.2	261.4	68.9
EBITDA(十億円)	3.1	4.1	3.5	4.1	3.4
前年比成長率(%)	-26.3	32.4	14.2	31.6	11.4
当期純利益(十億円)	0.2	2.1	1.6	2.2	1.8
前年比成長率(%)	-77.9	1,087	804.3	1,134	896
FCF(十億円)	1.0			2.3	1.9
FCF 利益率(%)	2.5%			5.2	4.6
FCF 利回り(%)				9.2	9.9

出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

注: FCF コンバージョンは FCF/税引前利益。数値は小数点第一位まで四捨五入。

当社予想は以下を主な前提としている。

- **売上成長加速** – AGEST グループ事業の 10% 台半ばの成長持続に加えて、DH グループ事業の一桁台後半への成長回復を予想。その結果、連結売上高は 2026 年 3 月期まで二桁成長を達成する見込み。
- **収益性** – DH グループ事業における高収益のデバッグサービスの売上拡大による営業レバレッジと、AGEST グループ事業における 2025 年のスピノフに備えた投資終了により、予想期間を通じた利益率改善を予想。
- **FCF 創出** – 収益性向上と低い設備投資水準により、今後は FCF 創出の増加を見込む。

サマリー

細分化された市場における大手の一角

デジタルハーツ HD は 2001 年にゲームデバッグサービスのパイオニアとして設立され、その後企業顧客向けの品質保証(QA)・テストサービスにも事業を拡大。細分化された同市場における大手の一角で、QA・テストサービス提供で時価総額国内第 2 位の規模を誇る上場企業である。

2025 年には、企業価値の最大化とエンジニア採用能力の強化を図るため、株式分配型スピンオフ及び上場によりエンタープライズ事業の中核子会社である株式会社 AGEST を独立した上場企業とすることを予定している。

会社予想によると 2025 年 3 月期より成長が加速する見込みで、中期のセグメント目標として以下が設定されている。

DH グループ(エンターテインメント事業)

- 売上成長率前年比 10%以上 (M&A などによる成長も含む)
- 「グローバルサービス」の売上成長率前年比 20%以上
- 営業利益率 10%以上
- ROIC15%以上

AGEST グループ(エンタープライズ事業)

- AGEST のスピンオフ上場を見据えたセグメント再編後、同社は新たな成長目標を設定していないが、従来は 28 年まで 30%CAGR としていたが、現在では中長期の成長目標を設定していない

アストリスは、同社が以下の方策を通じて中長期での成長トレンド維持を可能にすると見込んでいる。

- DH グループでは、ゲームソフトウェアのデバッグ事業の安定成長に加え、M&A や事業提携も利用しつつ、ソリューション拡充・地理的拡大によりグローバル事業を拡大することで成長を加速できる。
- AGEST グループ では、企業の DX 推進がコア事業の成長の追い風になるとともに、シフトレフト/シフトライト領域の QA に進出することで獲得可能な市場規模を拡大できる。

同社株の現在の 2025 年 3 月期予想 PER は 10.3 倍、同 EV/売上高倍率は 0.5 倍で、同社より売上規模の大きい同業他社に比べてディスカウントで取引されている。

会社紹介

概要

国内向けゲームデバッグ企業からデバッグとQA・テストサービスをグローバルに提供する企業に成長

デジタルハーツ HD は、エンターテインメント企業にデバッグサービスを、エンタメ以外の企業向けに品質保証(QA)・テストサービスを提供している。

国内で他に先駆けてゲームデバッグサービスを提供する企業の1つとして2001年に設立された同社は、2011年に海外に事業を拡大し、2013年には事業多角化を加速するため、持株会社制に移行した。

多角化の一環として、2017年にはエンタープライズ事業に本格参入し、社内資源の再配分とM&Aを積極化。同事業の売上構成比は2018年3月期の11%から2024年3月期には51%に拡大した。

2025年中に、エンタープライズ事業の中核子会社であるAGESTを株式分配型スピンオフ及び上場により独立した上場企業とする予定である。

20年以上の実績を有するソフトウェアデバッグとQAサービス

主な沿革

年月	事項
2001年4月	「デバッグ」の専門企業として有限会社デジタルハーツを設立
2003年10月	株式会社に組織変更
2007年9月	日本企業として初めて「Xbox 360®」の推奨ゲームテスト企業認定(AXTP)を取得
2008年2月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2011年2月	東京証券取引所市場第一部へ市場変更
2011年7～9月	韓国、米国、タイに子会社設立
2012年11月	Aetas 株式会社の全株式を取得し子会社化
2013年10月	純粋持株会社である「株式会社ハーツユニテッドグループ」を設立し純粋持株会社体制へ移行
2014年4月	株式会社プレミアムエージェンシー(現:株式会社フレ임ハーツ)の株式取得および第三者割当増資引受により子会社化
2016年7月	中国(上海)に連結子会社として DIGITAL Hearts (Shanghai) Co., Ltd.を設立
2017年6月	代表取締役の異動をはじめ、経営体制を刷新。第二創業期としてエンタープライズ領域における事業拡大を推進
2019年8月	LOGIGEAR CORPORATION の株式取得および第三者割当増資引受により子会社化
2021年3月	Metaps Entertainment Limited(現: DIGITAL HEARTS CROSS Marketing and Solutions Limited)の全株式を取得し子会社化
2022年4月	グループ組織再編を実施し、エンタープライズ事業は株式会社 AGEST を、エンターテインメント事業は株式会社 デジタルハーツを中心とする組織体制へ移行 東京証券取引所の市場区分見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行
2023年5月	エンタープライズ事業の中核子会社である株式会社 AGEST の株式分配型スピンオフ及び上場の準備を開始
2024年1月	エンタープライズ事業を営むグループ会社を株式会社 AGEST の直接子会社とするグループ組織再編を実施
2024年4月	チューリング株式会社に資本参加

出所: 会社データ



JGAAP に基づく要約財務諸表

損益計算書 (十億円)	FY 3/23	FY 3/24	FY 3/25E
売上高	36.52	38.79	42.33
売上原価	25.89	28.70	30.90
売上総利益	10.63	10.09	11.43
売上総利益率(%)	29.1	26.0	27.0
営業利益	3.00	2.04	2.53
営業利益率(%)	8.2	5.3	6.0
営業外収益	0.22	0.07	0.14
営業外費用	(0.07)	(0.05)	(0.06)
経常利益	3.15	2.06	2.62
特別利益	0.08	-	-
特別損失	(1.23)	(1.20)	-
税引前当期純利益	2.00	0.85	2.62
法人税等	(1.11)	(0.66)	(0.84)
実効税率(%)	35.2	32.2	32.0
当期純利益	0.89	0.19	1.78
非支配株主に帰属する四半期純利益	0.09	0.01	0.02
親会社株主に帰属する四半期純利益	0.80	0.18	1.76
売上高前年比伸び率(%)	+25.2	+6.2	+9.1
営業利益前年比伸び率(%)	+11.3	-32.0	+24.0
税引前当期純利益前年比伸び率(%)	-27.4	-57.2	+206.0
当期純利益前年比伸び率(%)	-55.1	-77.9	+896.3

貸借対照表 (十億円)	FY 3/23	FY 3/24	FY 3/25E
現金・預金	6.46	6.86	6.44
棚卸資産	0.03	0.03	0.03
売掛債権	5.29	5.92	6.46
その他流動資産	0.76	0.72	0.79
流動資産	12.53	13.53	13.72
有形固定資産	1.17	1.49	1.73
のれん	3.47	2.31	2.07
無形固定資産	0.72	0.59	0.84
投資有価証券	0.49	1.79	1.79
その他固定資産	1.20	1.38	1.38
固定資産	7.05	7.58	7.82
資産合計	19.58	21.10	21.54
短期借入金	5.11	7.10	7.10
買掛債務	1.17	1.28	1.34
その他流動負債	3.65	3.65	4.28
流動負債	9.93	12.03	12.73
長期借入金	-	-	-
その他固定負債	0.18	0.22	0.22
固定負債	0.18	0.22	0.22
負債合計	8.81	8.42	8.10
株主資本、その他の包括利益累計額	0.01	-	-
新株予約権	0.66	0.44	0.48
非支配株主持分	9.47	8.85	8.58
純資産	19.58	21.10	21.54

出所: 会社データに基づきアストリス・アドバイザリーが作成

キャッシュフロー計算書 (十億円)	FY 3/23	FY 3/24	FY 3/25E
税引前当期純利益	2.00	0.85	2.62
減価償却費	1.18	1.04	0.90
運転資金の増減	(0.44)	(0.17)	0.10
その他の非現金項目	1.03	1.05	-
法人税等支払額	(0.91)	(1.01)	(0.84)
営業活動によるキャッシュフロー	2.85	1.76	2.78
設備投資	(1.03)	(0.81)	(0.85)
投資有価証券	(0.40)	(0.16)	(0.50)
その他の投資活動によるキャッシュフロー	(0.47)	(1.40)	(0.93)
投資活動によるキャッシュフロー	(1.90)	(2.37)	(2.28)
配当金支払額	(0.39)	(0.47)	(0.47)
借入金および社債発行による収入(返済・償還による支出)	(0.48)	1.99	-
自己株式の取得による支出	1.12	(0.01)	-
その他	(0.10)	(0.58)	(0.58)
財務活動によるキャッシュフロー	0.14	0.93	(1.05)
為替影響	0.19	0.08	0.14
ネットキャッシュフロー	1.28	0.40	(0.41)
フリーキャッシュフロー(FCF)	1.82	0.95	1.93
EBITDA	4.18	3.08	3.43
EBITDA 利益率(%)	11.4	7.9	8.1
FCF マージン(%)	5.0	2.5	4.6
FCF コンバージョン(%)	91.0	111.4	73.8
設備投資/売上高(%)	2.8	2.1	2.0
設備投資/減価償却(%)	87.9	78.2	94.1
営業 CF マージン(%)	7.8	4.5	6.6
主要指標	FY 3/23	FY 3/24	FY 3/25E
収益性			
売上総利益率(%)	29.1	26.0	27.0
営業利益率(%)	8.2	5.3	6.0
当期純利益率(%)	2.2	0.5	4.2
ROA(%)	4.3	0.9	8.3
ROE(%)	10.1	2.1	21.3
ROCE(%)	31.1	22.5	28.7
ROIC(%)	14.7	9.4	11.2
流動性			
流動比率(倍)	1.3	1.1	1.1
当座比率(倍)	1.3	1.1	1.1
レバレッジ			
D/E レシオ(倍)	0.6	0.8	0.9
ネット D/E レシオ(倍)	net cash	0.0	0.1
自己資本比率(倍)	0.4	0.4	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	309.5	104.4	89.0
ネットデット/EBITDA (倍)	N/A	0.1	0.2
バリュエーション			
EPS(公表値)(円)	36.5	7.9	79.2
PER(倍)	22.3	102.3	10.3
希薄化後 PER(倍)	22.4	102.7	10.3
DPS (円)	21.0	21.0	21.0
配当性向(%)	57.5	264.3	26.5
配当利回り(%)	2.6	2.6	2.6
FCF 利回り(%)	9.4	4.9	9.9
希薄化後 FCF 利回り(%)	9.3	4.9	9.9
PBR(倍)	2.2	2.3	2.4
EV/売上高倍率(倍)	0.6	0.5	0.5
EV/EBITDA 倍率(倍)	4.8	6.5	5.9
EV/EBIT 倍率(倍)	6.7	9.9	7.9
EV/FCF 倍率(倍)	11.1	21.2	10.4



免責事項

本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が作成したものです。本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が信頼できると考える公開情報源から入手した情報に基づいていますが、独自検証は行っていない、その正確性や完全性について保証、表明、保証をするものではありません。本レポートは、当該企業について述言及すべき全事項を記載したのではなく、また、記載を試みるものでもありません。ここに記載された意見は、本レポート作成時点におけるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社の判断を反映したものであり、予告なく変更される場合があります。本レポートに記載されている将来の見通しに関する情報または記述には、仮定、今後の業績予測、未確定な金額見積もりなどに基づく情報が含まれているため、既知および未知のリスク、不確実性および、このテーマに関する実際の結果、業績または成果が現在の予想とは大きく異なる可能性をもたらすその他要因が含まれています。

本レポートは概説として作成されたものであり、特定の金融商品または戦略を個人的に推奨するものではなく、また個人的な投資アドバイスを構成するものでもありません。

アナリストは、(i)本レポートで表明する見解は、本レポートの対象である企業および証券に関する当該リサーチアナリストの個人的見解を正確に反映していること、(ii)当該リサーチアナリストの報酬のいかなる部分も、直接的にも間接的にも当該リサーチアナリストが本レポートで述べた見解に過去、現在、未来を通して関連しないことをここに証明します。

本レポートは、日本法に基づき設立され、日本の金融庁の監督下にあるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社により作成されました。現地当局による規制範囲に関する詳細をご要望の場合は、弊社から入手可能です。

利益相反

本レポートは、当該企業が委託して費用を負担したものであり、MiFID II で定義される許容可能な軽微な非金銭的利益に該当すると判断されるものです。

読者は、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が、現在、もしくは今後 3 ヶ月以内およびその後、当該企業に対して IR/コーポレート・アドバイザリーなどのサービスを提供する、または提供することを求める可能性があることを前提とする必要があります。

記載金融証券への投資：アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、取締役、役員、従業員およびサービスプロバイダーの個人的な取引について制限的な方針をとっています。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、投資業務を行っておらず、本レポート記載の金融証券は一切保有していません。

責任制限

アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートに基づき投資家が行った投資、売却、保有の決定に関して、いかなる責任も負わないものとします。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートの情報に起因する直接的、間接的、偶発的、特別、または結果的損害(予見可能か否かを問わず)に対して、一切の責任を負わないものとします。

Copyright 2024 Astris Advisory Japan K.K. All rights reserved.

全著作権所有。無断転載禁止